



笠間便り

白山市立笠間中学校
校長 松本 政彦

輝く未来へ 限りない前進を

3月13日（金）、春を感じさせる温かさの中、第68回笠間中学校卒業証書授与式が挙行されました。新型コロナウイルス感染予防のため、卒業生、保護者の皆様、教職員のための卒業証書授与式となったことは、とても残念でした。しかし、学び舎を去っていく寂しさと希望を持って旅立つ喜びをかみしめて「旅立ちの日に」を歌っている卒業生の表情とその歌を感慨深く聴き入れ、涙する保護者の光景に胸が熱くなりました。そして、ホームルームが終わり学校を巣立つ卒業生の姿は、花のような笑顔がいっぱい咲いていました。



凡事徹底 正しく生きる

（学校長式辞 一部抜粋）

みなさんは本日をもって、68年の歴史を持つ笠間中学校の卒業生の一員となります。この笠間中学校の伝統を受け継ぐみなさんに 今年度の本校、スローガンである「凡事徹底」という言葉を改めて贈り、はなむけの言葉にしたいと思います。

「凡事徹底」、「なんでもないような当たり前のことを徹底的に行う」では、あたり前とは何か。たくさんあると思いますが、最後に皆さんに伝えたいあたり前は、人として、笠間中の卒業生として「正しく生きる」と言うことです。ここで言う正しくとは、人間が本来持つ良心に基づいた、最も基本的な倫理観や道徳観のことを言います。例えば、**約束を守る。嘘をつかない。時間を守る。欲張らない。誰に対しても公平に接する。ルールやマナーを守る。素直に「ありがとう」と言葉で相手に感謝を伝える。**といった皆さんが笠間中学校で学び身につけたことです。人として当然守るべきことがらです。

今回のコロナウイルスなど将来の変化を予測することが困難な時代を生きる皆さんは、笠間中学校の卒業生としての誇りを持ち、「凡事徹底 正しく生きる」、この言葉をしっかりと実践し、胸を張って自分の人生を、たくましく歩んでほしいと願っています。皆さんの成長に関わられたことを私たち教職員一同は、心から誇りに思っています。



土の子賞 われら「土の子」誇り胸に



受賞者
嶋口穂乃佳
山下 晃輝
古田 聖哉
川本 拓実
寺田 紫乃
倉田 鷹人
坂井 瑞基

今年度の「土の子賞」の表彰式を13日（金）に行いました。本来なら3月6日（金）の全校集会で実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のための休業より、卒業式前に校長室で行いました。当日は北國新聞の取材があり、14日（土）の朝刊に様子が掲載されました。**われら「土の子」誇り胸に卒業**と見出しをつけて頂きました。この見出しが、この「土の子賞」の主旨を表しています。また、パネルを寄贈していただいた、齊藤先生ありがとうございました。

